

平成28年度一般会計予算額は

# 285億6600万円

平成28年度の一般会計予算が、3月の第1回市議会定例会で可決、成立しました。今年度は、昨年10月に作成した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の目標達成や「おもてなしの心日本一」を目指すための具体的な取り組みを重点事項と位置付けて予算編成を行いました。予算総額は、前年度当初予算と比べて6億8600万円、2.3%減の285億6600万円となりました。

では、今年度の予算について、歳入歳出別に前年度と比較しながら特徴を説明します。

【問】市財政課財政係 ☎77・8432

## 歳入

### 市債は8億8130万円の減

#### 市税

前年度の収納見込み、固定資産税にかかる家屋の新増築の影響などを考え、前年度より1億7120万円増の61億4811万円を計上しています。

#### 地方交付税

前年度より4億5000万円減の86億5000万円を計

上しています。

#### 市債

市営住宅東宮永団地建設事業が終了したことなどで、前年度より8億8130万円少ない23億8640万円を計上。このうち、合併した市町村に限り、特例として認められる合併特例事業債は、13億2720万円です(13ページ参照)。

# 28年度予算

## 歳出

### 民生費は3億7650万円の増

#### 【目的別】

##### 民生費

認定こども園として教育・保育を行う幼稚園が増えたこと、児童保育の時間延長、まほろばやまとのトレーニングルーム開設にかかる経費を計上したことなどで、前年度より3億7650万円増の115億9302万円2万2千円となっています。

##### 教育費

各中学校への空調施設整備、児童や生徒の学力向上のための経費を計上したものの、小中学校体育館吊り天井改修事業費が終了したことなどで、前年度より2億2166万円減の25億3624万円となっています。

##### 商工費

地方版DMOによる滞在力強化事業、東京浅草の商業ビル「まるごとっぽん」においての柳川市の情報発信にかかる経費を計上したことなどで、前年度より8961万円

増の7億8366万円となっています。

#### 【性質別】

##### 義務的経費

義務的経費は1億9104万円増の157億9198万円を計上しています。

##### 扶助費

認定こども園運営費、保育所運営費の増加などで3億1714万円増の76億306万円を計上しています。

##### 人件費

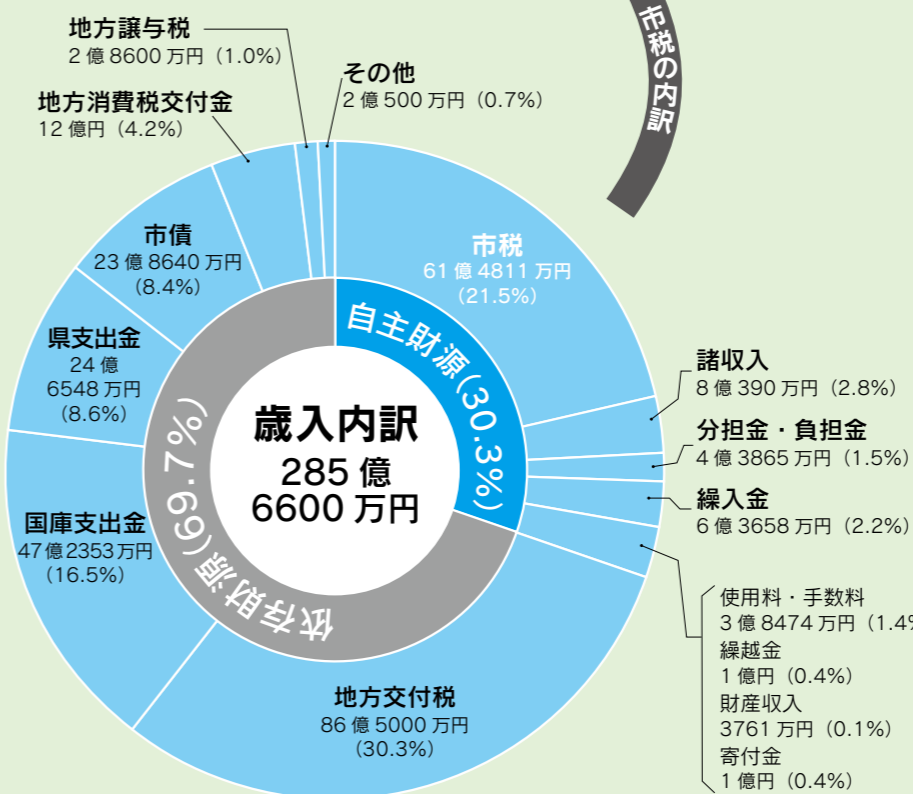
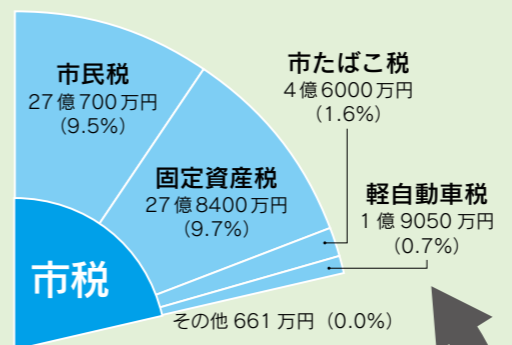
一般職員人件費の減少などで7888万円減の48億7614万円を計上しています。

##### 普通建設事業費

市営住宅東宮永団地建設事業の終了などで、12億9373万円減の33億1916万円を計上しています。

##### 繰入金

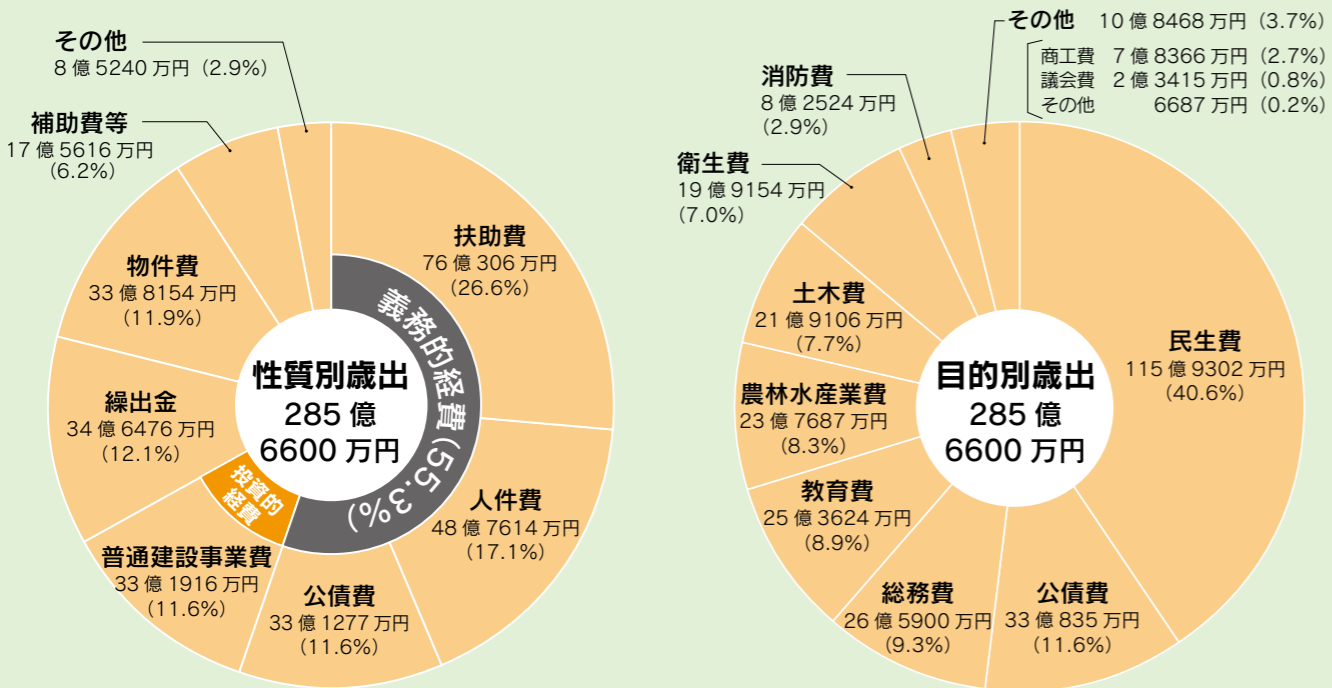
国民健康保険基金安定制度負担金の増加などで、1億1963万円増の34億6476万円を計上しています。



市民1人当たりの市税額は  
**8万9715円**

内訳は、固定資産税4万625円、市民税3万9502円、市たばこ税6712円、軽自動車税2780円、その他96円です。

※28年2月29日現在の人口、6万8529人で算出



### 用語解説

- 【歳入】
  - ▽自主財源Ⅱ市税や諸収入など、市が自力で集めるお金
  - ▽依存財源Ⅱ国や県の意思で定められた額の交付や割り当てられて入るお金
  - ▽地方交付税Ⅱ標準的な行政運営に必要な経費を補うために国から交付されるお金
  - ▽国庫支出金Ⅱ事業など特定の目的の費用として、国や県から交付されるお金
  - ▽市債Ⅱ大きな事業を行うために、国や金融機関から借り入れるお金
- 【歳出】
  - ▽議会費Ⅱ議員報酬や議会運営に使うお金
  - ▽総務費Ⅱ課税徴収や市民窓口、選挙などに使うお金
  - ▽民生費Ⅱ高齢者、障害者、子育て、生活保護などに使うお金
  - ▽衛生費Ⅱ健康診断、予防接種、こみ処理などに使うお金
  - ▽農林水産業費Ⅱ農業や水産業振興などに使うお金
  - ▽商工費Ⅱ商工業、観光事業などに使うお金
  - ▽土木費Ⅱ道路整備、区画整理などに使うお金
  - ▽消防費Ⅱ消防活動、消防施設の整備などに使うお金
  - ▽教育費Ⅱ学校、生涯学習施設、文化事業などに使うお金
  - ▽公債費Ⅱ市債の返済のために使うお金
  - ▽扶助費Ⅱ生活保護法、児童福祉法、老人福祉法などの法令で被扶助者に支給するお金
  - ▽物件費Ⅱ市が行う行政サービスのうち、効果が短期間のもので、旅費、需用費、役員費などのような消費的性質のお金
  - ▽普通建設事業費Ⅱ道路、水路、学校などの公共施設の整備などに使うお金
  - ▽繰入金Ⅱ一般会計と特別会計など会計相互間で支出されるお金
  - ▽義務的経費Ⅱ経常的に支出が義務付けられ、任意に削減することができないお金

# 28年度予算

## 合併特例債は15事業に

合併した市町村に特例として認められる合併特例事業債は、13億2720万円を借り入れ、排水路整備事業や道路整備事業など15事業に活用する予定です。なお、この合併特例事業債は70%が地方交付税として交付される有利な地方債です。

- ▷柳川庁舎耐震改修等事業 570万円
- ▷柳川市・みやま市一般廃棄物処理施設整備事業 3600万円
- ▷新火葬施設整備等事業 3420万円
- ▷排水路整備事業 2億4910万円
- ▷漁港整備事業 3980万円
- ▷県営農村総合整備事業負担金 4750万円
- ▷道路整備事業 3億4330万円
- ▷柳川駅東部土地区画整理事業 1億4870万円
- ▷柳川・城内地区都市再生整備事業 1億580万円
- ▷密集住宅市街地整備事業 2530万円
- ▷都市計画街路事業負担金 710万円
- ▷昭代第一小学校校舎大規模改修事業 1340万円
- ▷柳城中学校外5校空調設備設置事業 1億9140万円
- ▷垂見小学校グラウンド夜間照明整備事業 1250万円
- ▷市民文化会館（仮称）整備推進事業 6740万円

## 予算を「家計」に例えると…

市の予算と家計では、お金の使い道が異なるため単純に比べられません。予算額を10万分の1の「28万6000円」として、1か月の家計簿に置き換えてみました。

■収入（かつこ内は予算科目）	
▷給与	
基本給（市税、使用料など）	7万4000円
諸手当（地方交付税など）	9万2000円
▷親からの仕送り（国県補助金など）	8万9000円
▷銀行からの借入（市債）	2万4000円
▷預金の取り崩し（繰入金）	6000円
▷前年度の残金（繰越金）	1000円
■支出（かつこ内は予算科目）	
▷食費（人件費）	4万9000円
▷医療費、保育料など（扶助費）	7万6000円
▷水道光熱費、物品購入費用（物件費）	3万4000円
▷家や車などの修理、電気製品などの購入費用（維持補修費、投資的経費）	3万5000円
▷家族への仕送り、自治会費など（繰出金、補助費等）	5万2000円
▷借入金の返済（公債費）	3万3000円
▷友達に貸すお金（貸付金）	4000円
▷雑費（その他）	3000円

## 今年度の主な事業

※太字は新規事業

- ◆産業の振興
  - ▷活力ある高収益型園芸産地育成事業補助金 = 7774万円
  - ▷有明地区ノリ共同加工施設整備事業補助金 = 2億9183万円
  - ▷中小企業者等融資預託金 = 4億円
  - ▷**有明海柳川産海苔ブランド化事業費 = 180万円**
  - ▷農地・水保全対策事業費 = 1億8640万円
  - ▷新規起業・創業支援事業費 = 2182万円
  - ▷**地域DMOによる滞在力強化事業費 = 1186万円**
  - ▷**まるごと柳川情報発信事業費 = 747万円**（写真左下）
- ◆教育・福祉の充実
  - ▷昭代第一小学校校舎大規模改修事業費 = 1414万円
  - ▷垂見小学校グラウンド夜間照明設置事業費 = 1320万円
  - ▷生活保護費（扶助費） = 16億8000万円
  - ▷認定こども園運営等事業費 = 2億9775万円
  - ▷**学力向上支援事業費（小学校導入分） = 200万円**
  - ▷中学校空調設置事業費 = 2億150万円
  - ▷市民文化会館（仮称）整備推進費 = 1億1625万円
  - ▷自立支援給付費（介護給付費等） = 12億4913万円
  - ▷学童保育事業費 = 1億876万円
  - ▷ICTを活用した実証事業委託事業費 = 690万円（写真右下）

### ◆社会基盤の整備

▷高橋中牟田線道路整備事業費 = 1億3142万円

▷公共下水道繰出金 = 5億500万円

▷柳川・城内地区都市再生整備事業費 = 1億8568万円

▷塩塚川高潮対策番所橋架替事業費 = 1億2316万円

▷柳川駅東部土地区画整理事業費 = 2億7076万円

▷密集住宅市街地整備事業費 = 7339万円

### ◆健康づくり・生活環境の保全

▷予防接種事業費 = 1億8138万円

▷小型合併処理浄化槽設置事業補助金 = 1億3997万円

▷クリーンセンター維持補修工事費 = 1億4000万円

▷新火葬場整備事業費 = 5552万円

▷柳川市・みやま市一般廃棄物処理施設整備事業費 = 1億7606万円

▷大和トレーニングルーム開設事業費 = 479万円

### ◆その他

▷ふるさと寄付金推進費 = 5929万円

▷柳川市地域公共交通協議会負担金 = 800万円

▷“おもてなし柳川”市民会議負担金 = 200万円

▷**公共施設等総合管理計画策定・固定資産台帳整備等事業費 = 1600万円**

▷**参議院議員通常選挙費 = 2557万円**

▷消防自動車購入費 = 3568万円

## 特別会計

特別会計は、特定の事業を行うために、特定の歳入、歳出を一般会計とは区別して経理する会計です。市には5つの特別会計と水道事業会計があり、それぞれの会計の歳入、歳出予算額（1万円未満四捨五入）は次のとおりです。

特別会計	予算額	内容
国民健康保険特別会計	105億3500万円	自営業者や農漁業者など、国民健康保険加入者の医療費を支払う会計。【主な歳入】国民健康保険税18億7705万円、国庫支出金24億6822万円【主な歳出】医療や出産育児一時金などの保険給付費62億1119万円、後期高齢者支援金等10億498万円、共同事業拠出金26億2728万円
後期高齢者医療特別会計	9億7900万円	75歳以上の高齢者の医療費の支払いは、県内の全市町村が加入している県後期高齢者医療広域連合で実施。【主な歳入】保険料6億2922万円、一般会計からの繰入金3億4417万円【主な歳出】同連合に支払う納付金9億4934万円
下水道事業特別会計	12億1257万円	【主な歳入】利用者からの使用料1億5600万円、一般会計からの繰入金5億500万円、市債3億3290万円【主な歳出】事業費や維持管理費を含む下水道費6億7745万円、公債費4億9200万円
住宅新築資金等特別会計	66万円	住宅新築資金等の貸付事業は終了。現在は、貸付金の回収事務、事業を行うために借りていたお金を返すための事務を実施
公共用地先行取得等特別会計	0.5万円	公共事業を円滑に進めるため、用地を先行取得するときに活用する会計。活用に備えて歳入、歳出とも5000円だけを計上
水道事業会計【企業会計】	収益的収入	14億710万円
	収益的支出	13億7291万円
	資本的収入	4億7420万円
	資本的支出	8億7543万円



【まるごと柳川情報発信事業】東京浅草の商業ビル「まるごとにつぼん」に昨年12月から柳川の情報発信拠点を開設

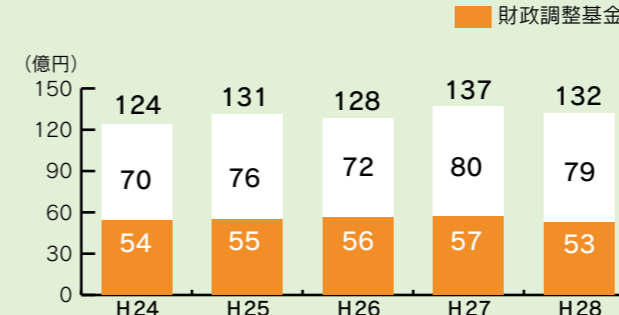


【ICTを活用した実証事業委託事業】カメラとインターネットを使って他校へ学習成果を発表する児童（写真は豊原小学校）

## 基金・市債残高の推移（一般会計）

※ H27、28 は見込額

### ◆基金残高



### ◆市債残高

